SHOW-HEYシネマルーム

★★★★★

愛しの故郷（我和我的家乡／My People, My Homeland）
第１話　続・Hello　北京（北京的好人）

2020年／中国映画
配給：wow cool entertainment／152分（第１話：約30分）

2021（令和３）年５月29日鑑賞	シネ・ヌーヴォ

Data

製作総指揮：チャン・イーモウ
監督：ニン・ハオ
出演：グォ・ヨウ／チャン・ジャンイー／チャン・ユー／ハオ・ユン／リュー・ミンタオ

みどころ

“なりすまし”モノは面白い映画が多いが、健康保険証を使った“なりすまし”はレッキとした詐欺罪。しかし、中国の国民的俳優、葛優（グォ・ヨウ）が“フーテンの寅さん”と同じように、愛嬌よく演じると・・・？

人情色とコメディ一色は絶妙！ドタバタ喜劇風の展開ながら、現代の中国の問題点をチクリと風刺する小話はメチャ面白い！

しかして、本作ラストのオチは？やはり、中国映画は面白い！

――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――＊――

■□■あの名優、葛優が登場！■□■

日本と同じように中国にも名優がたくさんいるが、張藝謀（チャン・イーモウ）監督の『生きる（活着）』（９４年）（『シネマ５』１１１頁）で、激動の中国現代史をたくましく生き抜いた主人公を演じ、妻役の鞏俐（コン・リー）と共に強烈な印象を残した名優が葛優（グォ・ヨウ）。彼はたくさんのヒット作に出演しており、近時は馮小剛（フォン・シャオガン）監督の大ヒット作『狙った恋の落とし方。（非誠勿擾）』（０９年）に主演したが、チャン・イーモウ監督が製作総指揮を務めた本作の第１話『続・Hello　北京』では、その葛優が登場！

舞台は北京。第１話『続・Hello　北京』は、本作の姉妹編ともいえる陳凱歌（チェン・カイコー）監督の『愛しの母国（我和我的母国）』（１９年）の１作である『北京你好』の“続編”という位置づけらしい。しかして、本作の物語は、駐車場の管理人をしている主人公・張北京（葛優（グォ・ヨウ）の従弟である表舅（張占義（チャン・ジャンイー）が、フードデリバリーサービスの配達の途中でちょっと仕事をさぼって張の家を訪れるところから始まるが・・・。

■□■手術代は多少銭？健康保険は？■□■

やってきた客が従弟の表舅だと一瞬気づかなかったのは、張が表舅に会うのが久しぶり、ということもあるが、表舅がどことなく弱っていたためだ。表舅は今、喉にできた甲状腺の腫瘍が大きくなっており、その手術代が７～８万元かかるらしい。少し前なら２万元で手術ができたそうだが、そりゃ大変。さらに、どちらにしてもそんな大金は持ち合わせていないし、そもそも彼は健康保険に入っていないから、どうしようもないのが実情らしい。

そんな“告白”をあまり深刻ぶらずに話してくれたからまだ良かったが、張もそんな大金を出してあげることなど到底無理。もちろん、表舅はそれは分かっているから、サラリと報告だけして、またすぐバイクに乗って配達に出かけたが、さて、何かいい手はないの・・・？

■□■よし、俺の保険証を！そうだ“なりすまし”で行こう！■□■

デンゼル・ワシントンが主演した『ジョンＱ -最後の決断』（０２年）（『シネマ２』１３７頁）は、日本のような国民健康保険（国民皆保険）の制度がない米国の悲哀をテーマにした問題提起作だった。突然の心臓疾患を宣告された息子の手術代はHow much？保険が使えなければ、心臓移植手術などとてもとても・・・。そこで下したジョンＱの“最後の決断”は、息子の命を救うため“病院ジャック（医師ジャック）”を決行することだったが、本作の張は、表舅に甲状腺腫瘍の手術を受けさせるため、自分の健康保険証を使う（不正使用）ことを決断！

アラン・ドロンが一人二役を演じた『アラン・ドロンのゾロ』（７５年）やレオナルド・ディカプリオが一人二役を演じた『仮面の男』（９８年）では、双子の兄弟が“なりすまし”に成功していたが、さて、本作の張と表舅は？気の小さい表舅は、張が打ち出した大胆な計画（詐欺）に最初から及び腰だが、典型的な中国人（？）の張は、自分の高血圧の病状を利用して堂々と病院内に入り込み、表舅になりすますことに成功！とぼけた味を演じさせれば、葛の演技力はまさに世界一だ。しかし、ちょっとした手違いで、自分の喉にメスが入れられる事態になったから、張は大変。さあ、張と表舅はそんな危機をどう切り抜けるの？

■□■未遂だったから微罪で！人情色とコメディー色は絶妙！■□■

日本の名優、渥美清のライフワークは言うまでもなく、『男はつらいよ』シリーズの、フーテンの寅さん役だが、なぜあのシリーズは５０作も続いたの？『男はつらいよ』に続くシリーズとして企画されたのは、西田敏行と三国連太郎コンビによる『釣りバカ』シリーズだが、同作もなぜ２２作まで続く長期シリーズになったの？それは、主人公のキャラが誰からも愛されるものであるうえ、パターン化された（させた？）ストーリー展開の中で、人情色とコメディー色が絶妙で、毎回程よくミックスされているからだ。

もっとも、寅さんには失恋が良く似合うから、いくら美女のマドンナが登場しても結ばれないのがミソだった。しかし、ひょっとして、山田洋二監督の采配ミス？そう思わせる

ような形で、寅さんと、浅丘ルリ子扮するリリーが結ばれそうになったが、やっぱりそれは無理だった。

中国の名優、葛優がいかにも、これぞ中国人というイメージで演じる詐欺師まがいの男は、実にピッタリな役柄だから、本作の張役をまさに水を得た魚のように楽しそうにその役を演じている。しかし、自分の喉を、メスで切り取られる直前、なりすまし犯行がバレてしまったから、大変。もっとも、それによって、表舅への手術もなくなったから、一安心だ。しかして、警察の前で、表舅は張に対していかなる対応を？俺はこの男から唆されて、なりすまし手術を受けようとしただけだ。悪いのは、（首謀者）の張だ。そんな展開になっていくもの。そう思っていたが、いやいや、実は正反対！そのうえ、なりすまし詐欺は、幸い未遂で終わったから、表舅は微罪で処理されることに。よかったね。まさに人情色とエンタメ色は、こうあるべしだ。

■□■最後のオチは？だから、やっぱり中国映画は面白い！■□■

コロナ禍が続く中、旅行・観光業者は大きな痛手を受けているが、私も中国旅行はもとより、とんと飛行機にも乗っていないことを実感中。私は飛行機の中ではいつもイヤホンを耳に当てて、ANA の機内オーディオプログラム（スカイオーディオ）を聞いているが、その半分は音楽、半分は落語だ。落語では常に最後のオチがポイントだが、さて名優、葛優が、まさに適役を得て、持ち前の演技力を発揮している本作のオチは？

落語に大家さんと借家人が登場する場合、大家さんが物知りで、借家人はとぼけた奴と相場が決まっている。他方、とぼけた亭主と、長年連れ添っているカカア（妻）は、しっかり者と、これも相場が決まっている。しかして、本作では、葛優演じる張は独り身だが、大それた犯行がバレて、２人とも大目玉を食らったのち、表舅はまたデリバリーの仕事に戻っていたが、その時点で、表舅には妻がいたことが明らかになる。張が住んでいるのは北京市内だが、表舅が住んでいるのは、河北省衡水市で、北京から２５０ｋｍほどの場所らしい。本作ラストは、その表舅が住む、河北省衡水市での、別れのシークエンスになるが、そこで表舅の妻・玲子（劉敏涛）が語ったこととは・・・？なんだそれなら最初からこんな事件を起こすなよ！思わずそんな茶々を入れたくなったが・・・？だから中国映画は面白い！

尚、ネット資料を調べると、本作には①“大白兔奶糖”というミルク味のキャンディー、②流しのギター弾き、③憧れの車等で、日本人には容易にわからない“コメディー色”も散りばめられているそうだから、中国通の人や、中国語のわかる人は、それにも注目！

２０２１（令和３）年６月３日記

『日本と中国』２２６５（２０２２年６月１日）

熱血弁護士

坂和章平

中国映画を語る〈63〉

（さかわ・しょうへい）
１９４９年愛媛県松山市生まれ、大阪大学法学部卒。都市開発に関わる訴訟を数多く手がけ、日本都市計画学会「石川賞」、同年に日本不動産学会「実務著作賞」を受賞。『坂和的中国電影大観』（２００４年、『ナニワのオッチャン弁護士、映画を斬る！』シリーズをはじめ映画に関する著書多数。（公社）日中友好協会参与、ＮＰＯ法人大阪府日中友好協会理事。

『男はつらいよ』で50種類ものフーテンの寅さんを演じた渥美清とよく似た中国の国民的俳優が葛優（クォヨウ）。張藝謀（チャンイモウ）の『活きる』（94年）や馮小剛（フォンシャオガン）の『狙った恋の落とし方。』（09年）で圧倒的な存在感と演技力を発揮した彼が、第一話では北京を舞台に、甲状腺腫瘍の手術代を出せない従弟・表舅へのなりすまし詐欺の主犯、張役で登場！ゼロコロナ政策を至上命題とする中国では上海に続いて北京もロックダウン状態だが、本作は表舅が張の家に立ち寄り、サラリと病状報告するシーンから始まる。手術代は多少銭？健康保険は有没有？日本は国民皆保険制度の国だが、『ジョンQ―最後の決断』（02年）では米国が後進国であることを露呈。息子の心臓手術代を払えない父親は病院ジャックに挑んだが、中国では？高額の手術代の負担は無理だが、幸い張も高血圧で通院中。俺の健康保険証で表舅になりすませば！

『アラン・ドロンのゾロ』（75年）や『仮面の男』（98年）では名優たちが双子の兄弟になりすましたが、葛優は？病院での表舅へのなりすましはチョロいもの。ところが、ある手違いで自分の喉にメスを入れられる直前に悪事は露見！そのため手術がなくなったのは幸いだが、保険証を悪用したなりすましはレッキとした詐欺罪。主犯・共犯２人への罪は？

落語では、とぼけた亭主に連れ添っているカカアはしっかり者と相場が決まっている。未遂のため微罪で済んだ表舅には北京から２５０km離れた河北省衡水市に妻がいたことが判明したうえ、そこでの会話が本作のオチになる。それなら最初からこんな事件を起こすなよ！ドタバタ喜劇風の展開と結末にはそんなツッコミを入れたくなるが、本作の人情色とコメディー色は絶妙。その中で現代の中国の問題点をチクリと風刺する小話はメチャ面白い。そんなオチは自分自身の目でしっかりと。

なりすまし詐欺の動機は？手法は？成否は？そしてオチは？
さすが葛優！人情色とコメディー色は絶妙！！

愛しの故郷

第１話

続・Hello 北京

©BEIJING JINGXI CULTURE&TOURISM CO.,LTD /CHINA FILM CO.,LTD

製作総指揮：チャン・イーモウ（張芸謀）総企画：チャン・イーパイ（張一白）総監督：ニン・ハオ（寧浩）
監督：ニン・ハオ（寧浩）、チェン・スーチェン（陳思誠）、シュー・ジェン（徐峥）、ダン・チャオ（鄧超）、ユー・バイメイ（俞白眉）、ポン・ダーモ（彭大魔）、イエン・フェイ（閆非）
2020年/中国/152分
原題：我和我的家乡
配　給：wow cool entertainment